

ENJOY! DIY

表面にねじ穴を残さずにつくるスパイスラック

ENJOY! DIY vol.52



角棒を繋いでつくった、ナチュラルテイストのスパイスラック。フレームづくりには、ねじなどを使わずに接合できる「ダボ継ぎ」に挑戦。継ぎ目で目立ってしまう釘やねじの頭が見えないので、見た目がきれいに仕上がります。



表面にねじ穴を残さずにつくる スパイスラック



用意するもの

材料

- 角棒 (18mm角)
→長さ30cm 4本
→長さ20cm 5本
→長さ5cm 6本
- ダボ (直径6mm)
→長さ20mm 22本
- 板材(厚み5mm)
→8.5cm×20cm 2枚
- ワイヤーネット
→21cm×30cm 1枚
- 木工用ボンド

塗料

- 水性塗料

※ダボ継ぎとは：釘やねじを使わずに、ダボを木材に埋め込んで、木材同士を繋ぎ合わせる方法です。



工具

- 電動ドリル ●木づち ●ホビーかんな

- ダボ錐 (きり)
ダボ穴をあける専用のドリルビットです。穴の大きさや深さはダボと合ったものを使ってください。



- ダボマーカ
片方のダボ穴を加工したあとに、受け側の木材に正確なダボ穴の位置に凹み跡をつける道具です。



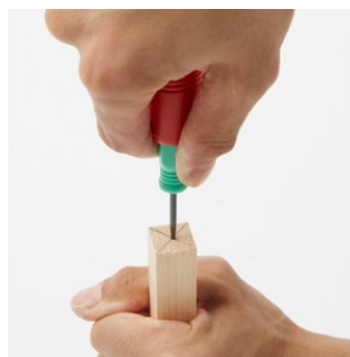
①角棒をカットする

各パーツ用のサイズにカットします。



②穴あけの箇所に印をつける

角棒に定規で対角線をひき、交わった中心を出して、鉛筆で印をつけます。



キリで下穴をあけます。



③ダボ穴をあける

正確な垂直の穴をあけるには、電動ドリルにダボ錐を使うことがおすすめです。穴の深さは、使うダボの半分より少し深いぐらいで。



ダボ錐（きり）



④ダボマーカをセットする

先にあけた角棒の穴に、ダボマーカを仕込みます。

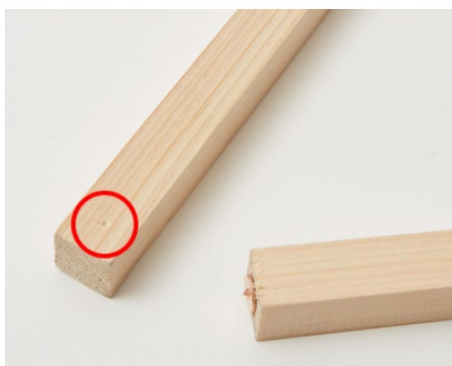


ダボマーカ



⑤ 継ぎたい角棒の穴位置を決める

継ぎたい角棒を、ダボマーカをセットした角棒と組み合わせます。重ねてギュッと押し込みます。そうすると受け側の角棒に、ダボマーカのトゲが刺さって、あけるダボ穴の正確な位置に凹み跡がつきます。



⑥ 繋ぐ角棒同士に相番をふる

角棒を組み合わせて、木杵をつくります。ダボ穴がずれないように、角棒の繋ぐ面同士に相番をふっておきます。



⑦ 受け側の角棒にダボ穴をあけていく

ダボマーカの跡がついた箇所を中心点として、ダボ錐を使って穴をあけます。



⑧面取りする

角棒すべてに穴をあけたら、ホビーかんなで表面を面取りし整えます。ツルツルになり、木目が出てきます。



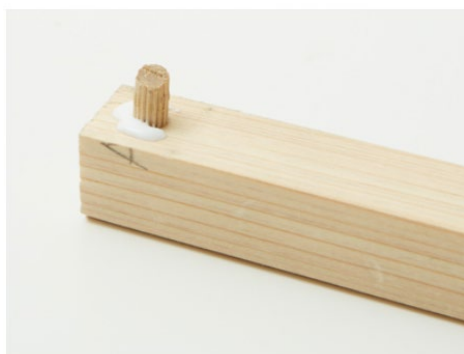
⑨木枠に繋いで仮組みする

角棒同士をダボで継いで木枠を組みます。穴がずれずに上手くはまるかどうか、木工用ボンドをつけない状態で仮にはめてみます。



⑩ダボ穴に木工用ボンドを塗りダボを埋める

角棒にダボを埋めていきます。





⑪木枠を組み立てる

角棒同士をダボ継ぎして、木枠を組みます。



⑫もう一方の木枠も同様にダボ継ぎで組み立てる

木枠を2つつくります。



⑬左右の木枠に、棚板をのせる角棒を接続する

5本の角棒をダボ継ぎで、木枠と繋がめます。



木づちで軽くたたいて、安定させます。



⑭スパイスラックのフレームが完成

左右の木枠を繋いだ角棒に、棚板2枚をのせます。



⑮着色する

フレームと棚板を、お好みの水性塗料で着色します。



⑯ネットを取り付ける

フレームの背面に、ワイヤーネットをタッカーで取り付けます。





⑰完成

棚板を乗せれば完成です。
ダボ継ぎで繋げたので、角棒
同士の継ぎ目の仕上げがすっ
きり。背面のワイヤーネット
も、アクセントになりました。

POINT

「ダボ継ぎ」のコツは、
組み合わせる木材同士がずれないように
正確にダボ穴をあけること！



●穴は垂直にまっすぐにあける

ダボを入れる穴が曲がっているとダボが上手く入らなくて、ダボ継ぎの強度が下がってしまいます。

正確な垂直な穴をあけるには、**ダボ錐**などを使うことをおすすめします。



●穴をずらさない

それぞれの木材にダボ穴をあけてダボで接続するので、その際に双方のダボ穴がずれていると、ダボが入らなかったり、入ってもダボが斜めになってしまいます。

受け側の穴をずらさないようにあけるには、**ダボマーカ**が便利です。

